【再評価】　「新潟駅付近連続立体交差事業」の事業概要　（連続立体交差費補助制度）

事業の目的

新潟駅付近連続立体交差事業は、鉄道を挟む南北市街地の一体化による都市の活性化を図るとともに、2箇所の踏切を除却して都市内交通の円滑化を図るため、JR信越本線等の新潟駅付近約2．5kmにおいて鉄道を高架化と関連道路（高架側道、区画道路）を整備するもの。

再評価実施の必要性	高架側道整備に関する地元との調整に時間を要したことなどにより、3か年の事業期間の延伸が必要となり、B/C（費用対効果）が減少したことから、事業継続の妥当性について改めて意見を聴取するもの。	B／C（費用対効果）	1．02	対応方針（案）	鉄道の高架化により、鉄道を挟む南北市街地の一体化による都市の活性化や、都市内交通の円滑化など事業効果が高いため、事業を継続し、早期供用を目指す。

【広域図】

【写真】新潟駅付近　全線高架化後の状況

【写真】仮線撤去状況・高架側道整備敷地

【位置図】